

◎これまでの討議における主な意見・指摘

佐賀駅周辺地区に期待するもの

- ① 機能を追い求めるのではなく、佐賀らしさの発現が重要だ。
- ② 全国画一的な街を目指すのではなく、無いことの価値こそが街の個性ではないか。
- ③ 旧市街と駅周辺とのバランスが重要。駅周辺だけが栄える街づくりは良くない。
- ④ 街なかへの導入・誘導の拠点としての交流機能を充実させれば、街全体の浮揚に繋がるのではないか。
- ⑤ 駅前インパクトが大事。街なかに足を踏み出したくなる仕掛けづくりが重要だ。
- ⑥ 駅から街なかへ向かう公共交通のあり方と、駅前広場の機能は、一体的に考える必要がある。
- ⑦ イベント広場は、城内の文化施設や文化会館との文化軸としての連携を、公共交通も含めて考えると良い。
- ⑧ 街なか居住の観点から、駅ナカの子育て施設や、子どもが遊べる駅前広場の整備も考えられる。
- ⑨ 駅周辺の空き店舗などを活用して、街なか居住のための施設を配置することも考えられる。
- ⑩ 街なか居住は、将来の高齢化を踏まえ、段階的に進めていく視点も重要だ。
- ⑪ 子育てでも文化でも良いが、街のコンセプトがきっちり表現された駅前にすることが重要だ。
- ⑫ コンパクトシティという大枠の中で、駅周辺の街なか居住と公共交通という枠組みのデザインが課題になる。
- ⑬ 周辺は浸水常習地区であり、排水や水辺景観にも配慮する必要がある。

佐賀駅周辺地区に必要な都市機能

- ① 駅周辺への大規模な商業機能の配置には疑問がある。
- ② 商業の視点からは、駅前への大規模な商業機能配置は避けるべきだ。
- ③ 大型商業施設は周辺への波及効果が薄い。現状、大型商業施設の駅前立地は考えづらいのではないか。
- ④ 福岡への近接性に鑑みれば、他の県都のような商業立地は目指さなくても良いのではないか。
- ⑤ 福岡への商圈流出を防ぐため、一定のナショナルブランドは駅前に必要ではないか。
- ⑥ 佐賀らしい、地場のものを売る施設であれば、街の顔になるのではないか。
- ⑦ ゆめポケットのような子育て世代・子どもの居場所や、学童保育施設があれば良いのではないか。
- ⑧ 市民活動プラザの代替としての貸会議スペースがあれば良いのではないか。

交通機能・駅前広場のあり方

- ① 北口・南口の両方にタクシープールや駐車場が必要なのか。役割を分けても良いのではないか。
- ② 他市では、タクシープールを駅前広場外に配置し、無線で呼ぶショットガン方式を導入した事例もある。
- ③ 観光バスの駅前広場への乗り入れを検討してはどうか。
- ④ 駅前広場は、タクシープールと駐車場を縮小し、一般車乗降場を広げてはどうか。
- ⑤ 北口の3現示信号の問題を解決するためには、出入口の集約化が必要だ。
- ⑥ 駅前広場は、屋根のあるイベント広場として整備すれば、収益性も期待できるのではないか。
- ⑦ イベントは集客が目的。商業施設が立地しないならば、広場は必ずしも駅前でなくても良いのではないか。
- ⑧ 雨に濡れずに移動できる現在のバスセンターの位置は優れている。
- ⑨ 一部でも良いので、駅前広場から直接南(中央大通り)へ向かうバス路線があった方が良い。
- ⑩ 駅周辺には駐輪場が少ないと感じる。
- ⑪ 北口の4車線道路は交通量も少なく、見直しが可能ではないか。
- ⑫ 通勤特化型の駅として、立体駐車場を整備し、パークアンドライドを推進してはどうか。